

東京新聞 2022年11月3日掲載

※著作権取得済み

障害者雇用3000人を達成した社長 ^{わだ かずのり}和田 一紀さん(47)

障害者の就労支援を目的に企業向け貸農園事業を手掛ける「エスプールプラス」（東京都千代田区）が10月末で、障害者雇用3000人、参画企業500社を達成した。開設した農園を、障害者の雇用を希望する企業側に貸し出すビジネスだが、創業13年目の「偉業、達成は、決して平坦な道のりではなかった。

「私のビジネス人生は成功体験より失敗体験でした」と語る。リクルートに入社後、31歳でハワイのフリーペーパー

を運営する米国企業に副社長で経営参画。帰国後、全財産を投じた事業は大失敗して無一文に。その時、知り合った起業家から貸農園事業を任されたが、立ち上げ当初は全く相手にされなかった。

「障害者が作った野菜を従業員に福利厚生に使ってみたい」。企業の責任者が漏らした言葉が転機となった。創業期の2011年当時、最低賃金の報酬を得ている障害者は20人に1人。企業側も障害者雇用率未達成の悩みを抱える。

この人



「障がいがある方、参画企業、私たちの会社の三者すべてが幸せになるビジネスを目指す。激動の時代を生き抜くビジネスマンを育てたい」。大阪府出身。（吉原康和）

2022.11.3